

米軍機 燃料タンク投棄

青森・深浦町

役場近くの市街に

空港へ緊急着陸 7便欠航

米軍第38戦闘機(貨物機)「ノルマ」近處の火災。機体に向かう炎が1000度熱いので、機体を回らせる。炎が機体に当たると、機体は回りました。回転は機動能、半端に取り付けられていました。燃焼タービンの本体を炎が包みました。一本回すと、火は止りました。

A map of the northern Kanto Plain, centered on the Tama River area. The map shows the Tama River flowing westward through the city of Kawasaki. The surrounding areas include Yokohama to the south, and the cities of Tama, Higashiyamada, and Tsurumi to the north. The map also indicates the locations of the Tama River, the Tama River Estuary, and the Pacific Ocean.



「一步間違えば…」「住民の命を何と」

怒りの声次つぎ

「前回はおだやかな顔で、今度こそは意地悪一〇一だ。」
したがいわざと(笑)の、おまけに腰を痛めたので出で立つ。おまけに腰を痛めたので出で立つ。
おまけに腰を痛めたので出で立つ。
おまけに腰を痛めたので出で立つ。

機械は、タクと震ふれ、複数の金属製の物体が散らばりはじめていた。一日目は、米軍が爆弾に駆けつけ、爆破装置を張りて回収を実施していましたが、分解する過程は爆道場の撮影を禁

卷之三

ア「米船に遭難の際を記す。」
エ「たゞ船頭、防衛省は前面に記す。
の冠ひにて」、現行の略称を
が確認されたのである。而して
10の現行を行なうより米
側に誤解を生じては困る
したがく米軍防衛省の大
臣を現地に派遣してしまつた。

す。でも、この問題を解決するには、いま一つ問題提起すれば、それがどうなったのかと思いつづけます。2002年に米国では、

油の臭いが鼻を突き刺す。 大小さまざまな種類が散らばる。 それがアーモンド油だ。 パーツで知り、現場を佐藤祐夫さん(82)は、

「米澤は、何故か敵を殺す事に意を用ひた。」

た。田舎がやがて都へ、都の風がやがて田舎へと移る事も思つてゐる。

娘をしていて受けがなかつたと語る女性(30代)は「昔からこんなに大きな物を落つけました。」といつて苦笑した。

わづは、年譜かのうが荒れ
が落れてきたら、
(會津縣・鹽原村、赤堀加

如めて強が強くなつてレ 本業に掛レ と臨しまし 番頭通直

「日本防衛」と無縁の中東派兵部隊 事故繰り返す

11月30日夜、米空軍三沢
基地（青森県三沢市）所属
のF-16戦闘機が燃料タンク
2個を投棄し、うち1個は

同県深浦町の田舎近くに落
下・破損して燃料もれを起
こした上、青森空港に緊急
着陸し、田舎機7便を運航
停止させるという重大事故
が発生しました。11月23日
には、普天間基地（沖縄県
宜野湾市）所属のMV-22オス
ペリイが住宅地に水筒を
落とさせたばかりです。

三沢F16 タンク投棄



主燃料燃料タックルを搭載し、三沢基地から心霊遊撃機をかけて16機（米国防省DVIDS）

これが安保

れども、深浦町沖で2000年4月に墜落事故が発生するなど、F-16は1980年の三沢基地への配備以来10機が墜落。同機の低空飛行に伴う騒音による、秋田県内の養鶏場で比内地鶏がパニックになり圧死する事故も繰り返されていま

しかし、F-16を運用する
第35戦闘航空団は、1991
年の湾岸戦争からイラク
・アフガニスタンの「対テ

日本政府は「今回の事故で米側に「遺憾の意」(松野博一官房長官)を表明し、「安全性が確認されるまで飛行停止を要請」(防衛省)するものの、米軍の横暴な訓練団体は「抑止力維持のため」として容認しています。日本を守るために

「」戦争、最近の I.S.掃討作戦にいたるまで、30年近くにわたる中東での戦地派兵を継続してきました。同組織団体一ページでも、自らの任務を「世界規模で展開する部隊」と規定しており、「後も必要であればこつとも海外展開できる態勢を整えていきます。

「日本を守るために」といふらか、日本防衛とは無縁の海外派兵のための訓練で日本国民の生命・財産を脅かす一回安保体制の正体が如實に現れました。日本政府の「安保絶対」「日米同盟絶対」の思考停止の下、米軍の横暴が野放しにされています。(竹下岳)

F16をめぐっては、▽18
年2月に同県東北町の小川
原湖で燃料タンク2個を投

棄し、シジミ漁などが一ヵ月間停止▽19年11月に同県六ヶ所村の民有地に機銃弾等を落すなど、重大事故が立て続けに発生しており、もはや異常事態です。

の言葉だらけ、他の言葉は
全くない。これが本物の
日本語だ。

も説いておき。真っ先に敵地に侵攻し、敵を無力化するための態様であつて

まだ回航率は16%
について、敵地の「地対空網破壊・
サイルを含む防空網破壊・

12/2
五種

人が住む所に落とすな

青森・深浦町長が憤り

青森県深浦町の吉田満町長は一昨日、町役場を訪問し、奥木誠防衛副大臣との会見後、マスコミの取材に応じ以下のように述べました。

◇
バイロットは安全だと思

っているかもしれないが、県内の落水事故が多く下に住んでいる人たち現場

との差異がある。民家には落とさない」という決めどおりある中で、今回事故が起ってしまった。

米軍副司令官の話で、2

個目のタンク投棄(場所)

は、深浦の山林かもしれない

原因究明といふ個別の調査いとの情報もあり、とにかく見守りたい。

早くみつけてほしい。波

浪が強くてドローンを飛ばせない。再発防止、原因究明をお願いした。人的ミスも起きる可能性あるが、二度とあつてはならないと伝えた。

下するような訓練でいいのか。きつめにした原因究明を。太平洋側だけでなく、二重、三重の安全対策を日本海側からも要請したい。

原因究明といふ個別の調査いとの情報もあり、とにかく見守りたい。